

近畿都市学会報

第197号

2017年4月10日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局・編集委員会窓口宛先

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科

小長谷一之研究室内 近畿都市学会事務局

Eメール：info@kintoshi.org

ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できません。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

（編集委員会宛も事務局で共同窓口となりました）

←連絡・入稿はすべて左記のメールでお願いします。

1. 2017（平成29）年度春季大会のお知らせ（予定）

近畿都市学会の2017年度春季大会は、以下のように予定しております。

【日時】2017年6月24日（土）

【会場】奈良教育大学

【プログラム】（すべて予定）〈案〉

1) (11:30までに) 会計監査

2) 11:30～12:30 理事会・評議員会

3) 12:40～13:20 総会

4) 13:30～13:40 開会挨拶 近畿都市学会会長 碓井照子

5) 13:40～14:30 特別講演 国土交通省観光庁観光カリスマ、「なら燈花会」企画創始者。株式会社読売奈良ライフ代表取締役社長・編集長 朝廣佳子氏

6) 14:30～17:00 一般研究報告

7) 17:30～懇親会

（※注）朝廣佳子（あさひろよしこ）氏 プロフィール（国土交通省観光庁観光カリスマホームページより）（主な経歴）1960年 岡山県生まれ。1993年（株）読売奈良ライフ代表取締役。1999年（社）奈良青年会議所第40代理事長。「カウントダウン2000 in NARA」実行委員長及び「なら燈花会」実行委員長。2000年「なら燈花会の会」会長。（カリスマ名称）「奈良らしさ」を追求し「なら燈花会」を成功に導いたカリスマ」（選定理由）奈良公園付近一帯を幻想的なろうそくの灯りを用いて演出する「なら燈花会」の第1回目から実行組織リーダーを務めている中心的人物。このイベントをボランティアの協力による市民主体のイベントとして地域に根付かせるとともに、多くの来訪者を呼び寄せることができる「奈良の夏の一大イベント」として成長させることに貢献し、第6回目となる2004年（平成16年）は期間中（11日間）に70万人もの誘客に成功している。

一般研究報告の申込締切 →5月8日（月）事務局まで必着

一般研究報告の要旨提出締切 →5月15日（月）事務局まで必着

II. 2017年度春季大会研究発表を募集します。

■ 研究報告の募集

①研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）および報告する際の使用希望機器（パソコンプロジェクター等）を明記したものを、**5月8日（月）必着で近畿都市学会事務局まで**、Eメールの方法でお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**5月15日（月）必着で上記の近畿都市学会事務局まで**、メール（テキストファイル）でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1200字以内とします。

III. 2017年度日本都市学会各賞の推薦著書候補を募集します。

2017年度日本都市学会各賞（奥井記念賞、論文賞、まちづくり賞）の近畿都市学会からの推薦候補を募集いたします。対象は、以下の通りです。

【1. 奥井記念賞】日本都市学会会員の著作で、2014年1月1日から2016年12月31日の**2年間**に刊行されたもの。

【2. 論文賞】日本都市学会年報および地域都市学会学術誌論文で、2015年1月1日から2015年12月31日の**1年間**に刊行され、著者が掲載時39歳以下で、単著かファーストオーサーであるもの（本賞のみ、条件の合う方は全て全国の委員会で機械的に審査対象となりますので、支部へのご推薦は要りません）。

【3. まちづくり賞】都市学の発展に貢献し、新しい考え方を示した地域調査機関や行政等の報告書・まちづくり業績（2014年1月1日から2016年12月31日の**3年間**）で、その集団的創作にかかわった会員。

候補のある場合は**2017年4月25日までに**、近畿都市学会事務局までご連絡ください。近畿都市学会理事会において、日本都市学会への推薦を検討いたします。要綱等についての詳細は日本都市学会ホームページ <http://toshigaku.org/> をご覧下さい。

IV. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2016年度第6回理事会は、2017年2月20日（月）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、日本都市学会本部事務局引き継ぎ案件の承認（代表は奈良教育大（根田）、会計代表は奈良県立大（大和）、会員・ウェブは奈良大（酒井）、会議総務は大阪市大（小長谷））、役員に関する事項の承認のほか、集会事項（春季大会）、庶務事項（会計管理システムの完成）、編集事項（16号について）等を議論しました。

近畿都市学会2017年度第1回理事会は、2017年4月10日（月）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、集会事項（春季大会）、庶務事項（会計管理システムの完成）、編集事項（16号について）、学会賞の推薦等を議論しました。

V. 日本都市学会第63回大会（中部担当、岡崎市で開催）のご報告と、日本都市学会第64回大会（東北担当、石巻市で開催予定）のお知らせ。

日本都市学会第63回大会（2016年度）は、中部都市学会が担当し、2016年1

0月28日(金)・29日(土)・30日(日)に、愛知県岡崎市(予定会場は岡崎市図書館交流プラザ(りぷら))において、「地方創生と観光まちづくり」をテーマとして開催し、参加者170名(一般参加者26名含む)、懇親会69名、エクスカッションは34名、研究発表者は62件と盛況のうちに終了することができました。主催の中部都市学会・日本都市学会、後援をいただきました岡崎市をはじめ、ご協力いただきました関係のみなさまには深くお礼申し上げます。

日本都市学会第64回大会(2017年度)は、東北都市学会が担当し、2017年10月27日(金)・28日(土)・29日(日)に、宮城県石巻市(予定会場は石巻魚市場)において、「都市の復興モデルを探る」をテーマに開催する予定です。会日は27日のエクスカッション(石巻エリア)から始まります。詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。ふるってご参加下さい。

VI. 日本都市学会常任理事会のご報告

日本都市学会第2016年度第1回常任理事会は、2017年3月26日(日)に名古屋市の日本都市センターで開催され、2016年度報告・決算、2017年度計画・予算、年報編集、第63回大会報告、第64回・第65回大会予定、学会賞、各分担事務局の引き継ぎ、特に本部事務の中部から近畿(上記4名)への移転などを承認しました。

なお、この引き継ぎの件については、既に上記の担当4名で2017年3月10日に名古屋のオフィスに行き、打合せを終えております。日本都市学会事項につきましては、詳しくは日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> (「都市学ドットオルグ」です) をご覧下さい。

VII. 「新しい都市学を考える」プロジェクトのシンポジウムにつきまして

日本都市学会において戸所前会長時より提案されておりました「新しい都市学を考える」プロジェクトにつき、近畿では山田前会長時代に各支部担当者を選出し、小長谷常任理事で対応しておりましたが、日本都市学会第2015年度末の常任理事会におきまして、岡崎大会の最終日に特別セッションをもうけることが決定され、2016年10月の岡崎大会において総括されました。近畿としては、直近において「総合的都市学」を考えた成果である近畿都市学会編『都市構造と都市政策』(山田浩之編集委員長、2014年古今書院刊)がありますのでこの内容をもとに松澤俊雄、小長谷一之の2名で発表をおこないました。この特別セッションの発表記録は次巻の日本都市学会年報に掲載される予定です。

VII. 事務局より

■ 新入会員 (2016年度後半よりの入会分)

北山啓三
山野節雄
松尾紀明
松本英之
吉田創
小菅謙次

■ 近畿都市学会入会のおすすめ

近畿都市学会会長

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。

この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

=====

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 近畿都市学会大会を年2回開催。
(春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体)
- (5) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (6) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、特別賞（まちづくり賞、学術共同研究賞））授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読・投稿の機会。
- (4) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。
- (5) 上記日本都市学会大会（年1回）への参加・発表の機会。

※日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

近畿都市学会事務局：連絡はメールでお願いします。 info@kintoshi.org

ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

<2017年度会費納入のお願い>

1 頁題字下に記載の口座に2017年度分会費を納入いただきたくお願いいたします。

- ・ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの方はATMから口座間送金（電信振替）でお送りいただく手数料が無料になります（月3回まで）。
- ・会費年額は、普通会员8,000円、学生会員等（近畿都市学会のみ）4,000円、名誉会員（日本都市学会にも在籍）4,000円、名誉会員（近畿都市学会のみ）無料、特別会員（団体）10,000円です。